

学校名

狭山市立広瀬小学校

本校児童会生徒会は、「さやまっ子の誓い」を

承認します・承認しません。

本校のいじめ防止に関する実践

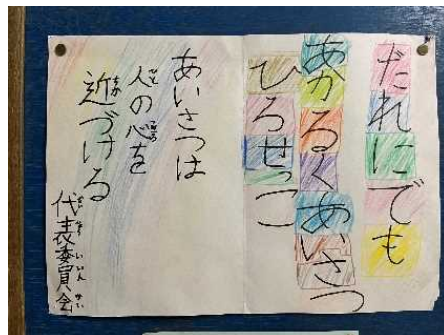
○児童会のめあて(スローガン)

年度初めに、代表委員会で「こんな学校にしたい」という思いのもと、話し合い決定している。今年度は「誰にでも 明るくあいさつ 広瀬っ子」となった。

<スローガン実現のための方策>

① ポスター掲示

委員会児童が作成し、昇降口や教室前廊下など様々なところに掲示した。



② あいさつ運動(赤い羽根共同募金)

1学期にはあいさつ運動、2学期にはあいさつ運動を赤い羽根共同募金と兼ねて行った。明るく笑顔で目を合わせながら、気持ちのよいあいさつのお手本となることを目標に取り組んでいた。あいさつを返してくれる子、笑顔が増え、代表委員の児童の自信にもつながっていた。あいさつを通して友達の輪が広がり、いじめ防止に繋がると考える。

○縦割り活動(わくわくグループ)

6年団(1・4・6年)と5年団(2・3・5年)の縦割りグループで活動を行っている。5年生と6年生は、全員がリーダーという意識をもって取り組み、下級生は協力しながら、上級生をお手本として憧れのまなざしで見ている。異学年の友達と仲が深まることで、他者との違いを認めることができるようになる。

① わくわく遊び

今年度は3回、水曜日のロング昼休みに行った。リーダーたちが相談して遊びを決定し、グループで遊ぶ。「みんなが楽しい」方法を考えながら、トラブルがあっても担当教師と相談し、上級生は下級生のことを考えて行動し、下級生は対処法を学んでいくよい活動となっていた。

② 広小まつり

グループごとに校内の各教室や体育館でお店を開き、前・後半で交代してお店を回る。今年度は「盛り上げよう 楽しく協力 広瀬っ子」をおまつりのスローガンに掲げ(代表委員会で決定)、コロナ対策に気をつけて実施。一人一人が自分の役割に一生懸命に取り組み、認め合い、仲よく遊び、自己肯定感の向上へとつながっていた。

○各クラスで「いじめ防止」についての話し合い(学活 1・2)

各クラスで「さやまっ子の誓い」を教室に掲示し、話し合いの時間を持つ。決めたことを実践し、継続的に観察・振り返り・見届けを行う。道徳・学級活動の時間を活用して「いじめ防止」について話し合っている。実態を確認し合ったり、毎日の生活を振り返ったりして、クラスや各自の指針を確認する機会となっている。

<決まったことの例>



【1年生・こころはっば】

道徳「こころはっば」で、友達との関わりについて学習し、友達にどのように声を掛けたいか考えた。「ともだちに やさしい ひとこと」で心の葉を素敵な色に変え、自分も相手もいい気持ちにさせたいと考える児童が多かった。

【2年生・わたしたちのちかい】

いやなことをされたら「いやだよ」「やめて」と言う。仲間はずれにしないで「一緒にやろう」と言う。似顔絵を書いて「さやまっ子の誓い」の周りに掲示した。



【3年生・思いやりツリー】

相手を思いやることの大切さを話し合い「ふわふわ言葉」「ちくちく言葉」の使い方について話し合った。友達の素晴らしいところを相互に認め合い伝え合うため、メッセージカードを作成して伝え合った。

【4年生・感動・なかよく】

国語「感動を伝えよう」の学習で、友達の作品のよいところをふせんに書いて渡す取り組みを行った。

学級会で「友達となかよくすごすために」をテーマに話し合い、「いろいろな友達を遊びに誘う」と「よかったところがあったらほめるなど言葉に表す」が目標に決まり、全員で取り組んだ。

【5年生・いじめを考えよう】

いじめが起きないように全体指導を行い、いじめが起きる原因や、どうすればいじめを防止できるかなど話し合せる活動を行った。

【6年生・いじめはさせない！ゆるさない！】

実態調査後、いじめはなぜいけないのか考えた。いじめをしないために自分のめあてを持ち、1人ずつカードに書き廊下に掲示した。適宜振り返りを行っている。

